

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ワインバス運行事業
事業主体 (連絡先)	(一社) 塩尻市観光協会 0263-54-2001
事業区分	(6) ア、オ
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,367,580 円 (うち支援金 : 1,012,000 円)

事業内容

- 桔梗ヶ原ワインバス
市民交流センター、塩尻駅東口から、桔梗ヶ原ワインバレーにある林農園、井筒ワイン、信濃ワインを回るルートにて9月の土日祝日(10日間)に運行した。
- 広域周遊バス
高速道路みどり湖PAを起点とし、サンサンワイナリーから、桔梗ヶ原ワインバレー及び日本アルプスワインバレー(安曇野市、松本市)二つのワインバレーを周遊する初めての企画として実施した。



【乗車時】
(桔梗ヶ原ワインバス)

【目標・ねらい】

- ①ワイン産業の総合6次産業化
- ②ワイナリーへの二次交通の確保
- ③松本地域観光産業の活性化
- ④

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ブドウの収穫時期(9月)に合わせてバスを運行した。このねらいは「ブドウの香りを体感してほしい」というものであり、利用者から「ブドウのいい香りがする」という反応が多かった。
- 利用者アンケートでは、運行継続希望の声が多数あった。
- 着地型の旅行プランとして、ワイナリーへの二次交通を確保することで、参加者の利便性と満足度向上につながった。両エリアのワイナリーを周遊することで、広域エリアの観光情報発信を行うと共に、観光産業の活性化に寄与した。

※自己評価【A】

【理由】
利用者アンケートでは、97%の方から「満足」との回答が得られた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

29年度の運行に加え、30年度は新たに信州まつもと空港の利用者をターゲットに運行距離や本数を増便する計画がある。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある